

議員の任務12カ条

- (法学博士田口彌一氏のことばより)
1. 住民の幸福を念とすること
 2. 民主主義の観念を会得すること
 3. 住民の幸福になることを調査すること
 4. 代表の観念を会得すること
 5. 厳正公平なすること
 6. 議長を尊敬し、議長を中心として行動すること

新議員の横顔

7. 他の議員の意思を傾聴し検討すること
8. 責任を回避しないこと
9. 利己的行動をしないこと
10. 選挙の公正を期すること
11. 議会の権限を逸脱しないこと
12. 執行機関と協力して行政の成績を挙げることに努めること

(注)各議員の写真欄は氏名、年齢、住所、当選回数、職業、役歴、電話番号、議席順

 塩野 重明 56才 新田町1番5号 2期 造園業 (総務委員長) ☎22-5268	 福島 勇 54才 山宮町8番地 1期 養鶏業 ☎52-2701	 中込 孝文 42才 酒折町171番地 1期 製綿業 ☎32-3848	 岡 伸 38才 上町1484番地 1期 司法書士 ☎41-3722	 原田 正弘 60才 太田町9番15号 2期 会社役員 (水道委員長) ☎37-3191	 市村 輝男 60才 下飯治屋町942番地 2期 農夫 (建設経済委員長) ☎41-2433	 鈴木 豊後 50才 池田二丁目10番28号 1期 団体役員 ☎22-5080	 飯島 勇 52才 大手一丁目3番4号 1期 団体役員 ☎52-6758	 伊藤 常八 64才 上石田二丁目41番25号 3期 団体役員 (甲府市農林水産部農政課長) ☎22-3618	 内藤 源一 63才 池田三丁目13番10号 3期 農夫 (総務委員長) ☎24-5801
 市川 正雄 60才 国母町1181番地 3期 農夫 (水道委員長) ☎33-0939	 小林 匡 54才 坂部二丁目7番13号 2期 団体役員 (民生委員長) ☎53-4786	 中西 久 57才 美咲一丁目2番11号 4期 会社役員 (副議長) ☎51-3109	 長瀬 正志衛門 68才 善光寺町2335番地 3期 会社役員 (監査委員) ☎33-2033	 小原 正平 66才 飯田二丁目8番2号 3期 会社役員 (副議長) ☎22-4175	 堀口 精一 46才 高畑二丁目7番6号 3期 会社役員 (監査委員) ☎22-0467	 内藤 秀治 57才 飯田二丁目10番16号 6期 会社役員 (副議長) ☎22-9093	 上田 英文 47才 下飯治屋町994番地 4期 増資 (副議長) ☎41-6600	 森沢 茂 58才 下飯治屋町12番55号 4期 会社役員 (建設経済委員長) ☎52-0027	 込山 貴雄 59才 美咲一丁目4番9号 6期 会社役員 (副議長) ☎52-3980
 堀口 菊雄 46才 国母町二丁目3番35号 1期 会社社長 ☎26-5843	 富永 政男 55才 羽黒町670番地4 1期 会社役員 ☎52-3007	 千野 峰 39才 湯田二丁目6番2号 1期 会社員 ☎35-3827	 宮島 雅展 33才 寿町15番4号 1期 専従経営 ☎26-5048	 白井 成夫 34才 大手一丁目4番49号 2期 会社役員 (水道委員長) ☎53-3322	 秋山 慎次郎 64才 中央一丁目10番11号 3期 会社役員 (甲府市広域行政事務組合議員) ☎33-3004	 土屋 直 42才 川田町532番地 3期 会社役員 (水道委員長) ☎33-8632	 岡田 修 39才 国母町二丁目6番1号 1期 政教役員 ☎26-1838	 早川 光國 63才 宝二丁目2番9号 2期 政教役員 (民生委員長) ☎22-8210	 堀内 光雄 46才 吉沢二丁目2番22号 3期 団体役員 (予算特別委員長) ☎35-6437
 武川 和好 47才 横根町84番地の5 3期 農夫 (建設経済委員長) ☎35-3705	 石丸 あきじ 53才 辰形二丁目2番36号 4期 政教役員 (民生委員長) ☎53-9590	 小林 康作 46才 愛宕町196番地 3期 政教役員 (監査委員) ☎53-0982	 堀込 徳一 62才 中小河原町161番地 4期 政教役員 (監査委員) ☎41-4628	 小沢 政春 67才 国母町二丁目3番1号 2期 政教役員 (総務副委員長) ☎24-6989	 三井 五郎 53才 東光寺町264番地 6期 団体役員 ☎35-0903	 溝口 一雄 57才 大神町10番7号 5期 政教役員 (副議長) ☎52-0753	 山本 繁芳 56才 武田二丁目4番28号 4期 会社役員 (副議長) ☎52-6848	 早川 武男 51才 吉沢町1983番地 6期 会社役員 (副議長) ☎32-1222	 小沢 綱雄 64才 吉沢二丁目5番7号 6期 会社役員 (副議長) ☎35-1476

甲府市議会会派一覧表(昭和54年5月23日現在)

会派名	所属	人数	構成
政和会	日本社会党	7	内藤秀治、市川輝男、原田正弘、堀込徳一、山宮勇、堀込修、岡田修、小沢政春、白井成夫、三井五郎
公明党	新設クラブ	5	堀込徳一、堀込修、岡田修、小沢政春、白井成夫
日本共産党	政友会	3	堀込徳一、堀込修、岡田修
公正クラブ	政友会	3	堀込徳一、堀込修、岡田修
無所属	無所属	5	堀込徳一、堀込修、岡田修、小沢政春、白井成夫

今臨時議会において、甲府市広域行政事務組合議会議員の選挙が行われ、いすれも指

各常任委員会並びに議会運営委員会の構成決まる

委員会	委員長	委員
民生委員会	鈴木 豊後	定数九名
水道委員会	鈴木 豊後	定数九名
建設経済委員会	鈴木 豊後	定数十一名
議会運営委員会	鈴木 豊後	定数十一名
監査委員会	鈴木 豊後	定数九名
総務委員会	鈴木 豊後	定数九名
民生委員会	鈴木 豊後	定数九名
水道委員会	鈴木 豊後	定数九名
建設経済委員会	鈴木 豊後	定数十一名
議会運営委員会	鈴木 豊後	定数十一名
監査委員会	鈴木 豊後	定数九名
総務委員会	鈴木 豊後	定数九名

市議会を傍聴しましょう

みなさんが選んだ代表者である議員の活動を充分理解するために、ぜひ議会を傍聴しましょう。なお、次回は六月開催の予定です。

政策的予算は6月まで一部留保

から提出された昭和五十四年度甲府市一般会計予算案など三十二件、人事案件二件、諮問一件、議員提案一件を審議しました。この結果、一般会計二百二十億一千七百四十六万八千円の予算及び、議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正は、賛成多数で、他の予算・条例案は、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。また、人事案件二件、諮問一件についても、全員異議なく同意・推薦することに決しました。さらに、議員提案の「市長の証言内容等に関する調査について」は、賛成少数で否決し、十八日間にわたる会期を閉めました。

今期最後の一般質問は、十二日から十四日まで
の三日間にわたり、森茂茂（市政）、白井成夫（自民党）、風間良興（社会党）、堀込徳一（公明党）、石丸あけら（共産党）の五議員が、各党派を代表して、市長の政治姿勢、市長の三選出馬問題、新長期総合計画、水道行政、公園整備事業、教育行政等、当面する市政の問題点を中心に活発な質問を展開しました。その主な内容は次のとおりです。

三選出馬問題について

問 市民の大きな批判がある今日、何故三選出馬にこだわることができるのか。むしろ出馬断念も表明することが、市民に対し、責任をとることではないか。

答 三選出馬の考えについては、私は市政を誠心誠意やっています。市民の要請を受け、それに応える意味で出馬表明をした。

三者会谈問題について

問 五十三年一月二十六

望整備の上、立つて多様な水道の整備、利用所多様化、これの新し、動物公園をつ

新総合計画

五十三年度の成果は

問 昭和三十五年当初において、本市の都市像が樹立され、新総合計画がスタートしたのが、一年を経過して、その成果をどのように評価しているか。

答 昭和三十五年度予算は、新総合計画のスタートルの年であり、同時に中期市政執行方針に基づく根幹事業計画の最終年度である。従って、新総合計画の将来展望の上に立て、下た。

予定である。また、水がありある貴重な資源であるとは、多くの人に認識されており、本市においても、現り、本市においても、現り、本市においては、大構想をも含め資源を大切にする省エネルギー対策につめていいる。さらに荒川川完成後のダム建設については、まだ計画はないが、川の河川に見られるようにムはいくつもの造ることが水調節、水の有効利用に効用が大きいのでは充分検討していく考えである。

市立動物園五十七年度移転を計画

問 動物園移転について、移転に対する基本構想と、それに伴う跡地利用また建設場所を伺いたい。

答 昭和三十七年開園基本構想を先に明らかに

月	日	曜日	日 程
3	9	金	開会、提案理由の説明
10	土	土	議案調査のため休会
11	(日)	日	〃
12	月	月	本会議 質疑及び市政一般質問
13	火	火	〃
14	水	水	〃
15	木	木	条例・予算特別委員会 設置、各委員会付託 各常任委員会 刑務所特別委員会
16	金	金	本会議、各委員長報告
17	土	土	条例・予算特別委員会
18	(日)	日	休会
19	月	月	条例・予算特別委員会
20	火	火	予算特別委員会
21	水	水	休会（春分の日）
22	木	木	予算特別委員会
23	金	金	〃
24	土	土	〃
25	(日)	日	休会
26	月	月	本会議、各特別委員長 報告、閉会

かいた。

問 小学校第一学年の四十八人クラス編成に伴い必要とする教室は七クラスとなるが、そのうちブレハスで対応するものは四教室である。

建設は三月補正予算の中で措置し、施工する。

これに要する経費について

答 融資条件は、最悪五十万円で、年率六・四八パーセント、五年以内の期間で返済。保証者は一名をたてる。

大規模地震に対する地域防災について

問 大規模地震対策特別公債費の見通しは

答 昭和五十四年度の市債は、十八億一千八百万円余となっており、前年対比一五・二七パーセントの伸長率がある。

に聞き、由緒の遊逸公園として拡張し、整備してまゐりたいと考へてゐる。

老人対策に積極策を

間 在宅老人の生きがい、健康維持の増進等積極的に推進していき

答 老人対策については、家庭奉仕員の年次計画による増員、入浴車の派遣、愛のべり設置、老人福祉電話への加入措置等を実施してゐる。

了時の財政措置を要請 措置法が昨年制定されたが、県としてみれば、市としてみれば、市は指定された地域に指定される見通しがあるから、さらにこの対応策であり、当面措置できない状況であるの、本市といふは、何らかの措置を講ずるよう今後も引続いて強制的に働きかけて行く考えである。

勤労者生活安定資金 下していると考えるが、対して、市は他都市と比較して低運営にあるに、消防防の第一層地域防災が重大となるに、類似都市から比較すると本市の場合には、その事は低く、財政運営上も支障はない。

るが、今後とも、この介護策の強化、充実を図ってまいりたい。	人健康診査と関係もあるが、六十才以上に応じられるのは、早期に行いたい。
人間ドッグの対象年齢四十才から六十才まで	四十人編成に伴う学級増ブレハブで対応
問 人間ドッグの対象者を四十才から六十才までと	問 県は新年度から小学校の第 一 学年年四十五人学級編成とすることとし、市
答 人口の高齢化が進み、老人人口の増加は大きな社会問題であり、これ等老人に対する生きがい対策には万全を期してまいりたい。	答 人口の高齢化が進み、老人人口の増加は大きな社会問題であり、これ等老人に対する生きがい対策には万全を期してまいりたい。

金融資について

問 勤労者福祉行政として、生活安定資金二千万円を予算計上しているが、どのように実施していくのか。

答 長びく不況の中で、中小零細企業従事者に対する指定を受けた場合は、防災策を聞きたい。

策 国土庁と中央防災会議において、指定すべき地域の検討を急いでおり、当初三月末で静岡県だけがとりあえず指定されたが、追加については五月頃、追加指定される見通しである。

人権擁護委員

ます。環境の整備充実か。また、老人医療無料とは、施設をレハブ建てるため、福祉センターの新設、老人想の家の整備を。なる六十才まで広げられ

孤児、老人農園の開設、老 答 国保事業における被 べきだと思ふが、市は県 人クラブの育成強化、就労 保険者を対象とした人間 どのような折衝をしてい

の報酬が答申をされてきたが、今後はこれを切り離し、明確化を図るための改

したが、一部委員から、改正には賛同できるが、趣旨に好ましくないとの意見が出た。また、議案第十一号「府市職員

の」とおり可決するものと決

した。二氏を人権保護委員候補者へ推薦するについ

て、次の二氏を人権保護委員候補者へ推薦するについ

て、市民から議会の意見を出

求められたに對し、全員

候補者を推薦

二月十四日をもって任期が満了した人権保護委員富土平氏及び、三月七日死亡した山本宗次氏の後任として、

また、消防団の運営につ

待改善を図って

市と労働金庫がそれぞれ三千万円づつ出資し、四千万円の貸出枠を用意す

強化計画の作成を義務づける生活定着の融資制度の実現は、強く望まれている。市と労働金庫がそれぞれ三千万円づつ出資し、四千万円の貸出枠を用意す

である。早速に作成されるので、早くに作成されるのを考えて、

当委員会に付託された議案について、三月十九日委員会を開き、慎重に審査した結果について報告します。

正であるとの説明があまり見があり、賛成多数で原案
 定数条例の一部改正
 議案第十四号 府市民
 館設置及び管理条例及び甲
 府市民館使用条例の一部
 異議なく推薦を決めまし
 た。
 甲府市武田三丁目富士 平
 一 家四丁目富士 平



長瀬委員
長がい、公文書豊楽等が行わ
れたと思われるので、処分
にあたっては慎重に対処す
べきだとの意見がありまし
た。

審査情況

改正
府下公共衛生局の「衛生
議案第十五号甲府市消防
団員の定員、任免、給与、
服務等に関する条例の一部
改正
改正
固定資産評価審査委員
員及び監査委員の選
任に同意

同
千塚四丁目新築の

まず、三者会談問題に関連する公文書毀喪、虚偽公文書作成等の容疑で逮捕された職員扱いについて質問したところ、当局は、現在、議会の議員に対し、本会談

議案特別委員会の有

議案第十号 堺市市国民
健康保険条例の一部改正
議案第十七号 堺市病院
事業の設置等に関する条例
の一部改正
議案第十八号 堺市市営
住宅委員田村義雄氏の後
任満了となる固定資産評

三月二十八日をもって、
提出されまし。

三月二十七日の本会議に
市長から、人事案件が二件

市として、具体的な内容について把握してゐない。捜査の終了を待って、当局はその理由として、従来は報酬審議会の中

住宅条例の一部改正
議案第十九号青年学級開設について
の一案は、いずれも当局原案のとおり、異議なく可決するものと決しました。

十六日付で、退職した監任に中村六雄氏は、三月一
任に委員飯野守平氏の後任に
山本義邦氏を、選任するこ
とに、全員異議なく同意す
ることに決しました。



条例特別委員会の審査状況

議案第四号甲府市公民館設置及び管理条例の甲府市公民館使用条例の一部改正	甲府市武田三目富士平同
議案第十五号甲府市消防団員・定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部改正	千塚四丁目森沢幸夫
議案第十六号甲府市国民健康保険條例の一部改正	三月十六日の本会議に市長から、人事案件が二件提出されし。
議案第十七号甲府市病院事業の施設等に関する条例の一部改正	三月二十八日をもって、任期満了となる固定資産評価審査委員田村義雄氏の後任に中村孝雄氏を、三月二十六日付で退職した監査委員飯野亨平氏の後任に山本金昇邦氏を、選任すること、全員異議なく同意することに決しました。
議案第十八号甲府市営住宅条例の一部改正	任に中村孝雄氏を、三月二十六日付で退職した監査委員飯野亨平氏の後任に山本金昇邦氏を、選任すること、全員異議なく同意することに決しました。
議案第十九号青年学級開設について	いずれも当局原案のとおり、異議なく可決するものと決しました。

